

奈良・サマルカンド特別交流展事業内容の一部変更について

1. 事業内容の一部変更について

奈良・サマルカンド特別交流展事業について、展示品の調査選定など着実に準備を進めており、資金面についても多くの方々からのご支援により、当初の寄附目標額（1億円）を大きく超える成果が出ております。また、日本とウズベキスタンの交流という点においても大きく注目されており、さらに充実した交流展となるよう下記のとおり事業内容の一部変更を行うものです。

【変更内容】

・令和7年12月、奈良市長とウズベキスタン共和国大統領の会談において、大統領から特別交流展の成功に向けた激励の言葉をいただき、サマルカンドで最も文化財的価値の高い「アフラシアブ壁画」を展示作品に加えることとなったため、新たに輸送費等を全体事業費に計上するものです。

・また、昨今の物価高騰の影響等を考慮し、今後の不測の事態に対応できるよう新たに予備費を全体事業費に計上するものです。

（予備費分を含め、今後もガバメントクラウドファンディングの実施など継続的に資金獲得に努めます。）

2. アフラシアブ壁画について

サマルカンドのアフラシアブ遺跡で発見された、中央アジアを代表する7世紀の宮殿壁画です。壁画にはソグド人をはじめ、唐・新羅・突厥など様々な民族の使節が色鮮やかに描かれています。本作品は、交易の中心地であったサマルカンドの繁栄と文化的多様性を示し、まさに「シルクロード」を象徴する壁画として世界的に有名なものです。

また、過去にルーブル美術館（パリ）や大英博物館（ロンドン）で展示された実績があり、本交流展で展示が実現すれば東アジア初の快挙となります。

写真：ウズベキスタン共和国大統領府文化芸術発展基金提供（※転載禁止）



▲「使節の間」壁画 アフラシアブ遺跡（7世紀）

3. 特別交流展概要について

名称：奈良市・サマルカンド市姉妹都市提携5周年記念

特別展「奇跡の壁画とシルクロードの至宝」

会場：奈良国立博物館

会期：令和9年7月10日（土）～9月5日（日）予定

主催：奈良市、奈良国立博物館、ウズベキスタン共和国大統領府文化芸術発展基金、NHKエンタープライズ近畿、読売新聞社

4. 全体事業費の変更について

【歳入】

（単位：千円）

科目	変更前	変更後	7月13日現在	内容
国庫支出金	150,000	263,000	262,988	(国庫補助の地方負担への交付税措置を含む)
企業からの 寄附・協賛金	60,000	73,000	64,680	
ふるさと納税	40,000	100,000	84,146	
入場料収入 物販収入	150,000	160,000	160,000	入場料収入 120,000(有料入場者約 60,000 人) 物販収入 40,000
合計	400,000	596,000	571,814	(不足額 24,186 千円)

【歳出】

（単位：千円）

科目	変更前	変更後	増額	内容
報償費	4,500	4,500	0	
旅費	13,000	13,000	0	
需用費	15,700	15,700	0	
役務費	17,800	17,800	0	
委託料	349,000	495,000	146,000	壁画輸送費 96,000 壁画搬出入作業費 50,000
予備費	0	50,000	50,000	予備費 50,000
合計	400,000	596,000	196,000	

- ・全体事業費について、今後主催者間において一部分担予定。